

◆主な内容◆

- 伝統の技と心を未来に……………4面
- 年始の休日診療・施設などの開設状況……………4面

としま

平成23年
(2011年)

1/1

No.1485

広報

発行:豊島区 編集:政策経営部広報課 〒170-8422 豊島区東池袋1-18-1 ☎3981-1111 ホームページ <http://www.city.toshima.lg.jp/>

賀年
謹新

懐かしさと新しさが融け合い、ひとびとが輝くまちづくりを
まちを育て、まちで育つ

隈研吾さん(左)と高野区長
(撮影: 雑司ヶ谷鬼子母神参道)

豊島区は、先人から引き継いだ誇るべき歴史と文化資源を持ち、明日への活力を生み出し続ける私たちの故郷です。

これまで、福祉と教育を基本としつつ、文化創造都市、環境都市、生涯健康都市、そして池袋副都心と区内各地域の個性あるまちづくりを、区民の皆さまとともに着実に進めることができました。

そして今年も、地域のなかに豊かな人と人の絆を広げながら暮らしの安心を創り出す「安全・安心創造都市づくり」を重点として掲げ、少子高齢化に対応する福祉と教育の充実と、高密都市ならではの安全と健康の質の向上に取り組みたいと思います。

今年一年の皆さまのご健康とご多幸を心から祈念いたしますとともに、活力と安心に満ちた価値あるまちを子どもたちに引き継いでいくため、今後とも区民の皆さまのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

高野之夫

未来の子どもたちに
価値あるまちを引き継いでいくために



豊島区議会 議長
堀 宏道



豊島区 区長
高野 之夫

初春のお慶びを
申し上げます

新しい年を迎え、「文化創造都市」豊島区は、活気にあふれ、安心して暮らせるまちづくりをさらに進めていきます。

新春対談には、東京大学教授で建築家の隈研吾さんをお迎えしました。世界を舞台に活躍し、平成26年竣工予定の豊島区新庁舎の設計も担う隈さんと区長が、文化・環境・都市再生をテーマに語り合いました。

文化と場所が融合すること。それが、まちの競争力になる。

区長◆あけましておめでとうございます。私は、この豊島区で、文化を大切にしたまちづくりをしたいと強く思い続けてきました。そんな中で、土地の文化を建築に活かし、まちづくりについても専門家でいらっしゃる隈先生に憧れ、ぜひにお願いして区で講演をしていただきました。それが先生との最初の出会いですね。

隈◆そうでしたね。僕は、区は違うけれど、住まいが近いので雑司が谷界隈には親しみがあります。熱気や静けさ、いろんな顔を持っているところがとてもよくて、これからの都市のモデルケースとなりそうな空気を肌で感じていたので、「そういう場所のためなら喜んで」と、お話をしに行っただけです。区長◆都市再生について、示唆に富んだ素晴らしいお話をしていただきました。

隈◆アジアでは古いものと新しいものを合わせて、まちがどんどん面白くなっているのに、東京はほとんど元気がなくなっています。だから、僕は東京を何とかしたい。しかも、自分の愛着のある地域がもっとよくなればよいと思っっているんです。

区長◆豊島区には素晴らしい文化がたくさんあるのに、かつては行政も地域も積極的に残してこなかった。ですから、まちの歴史を次の世代に残すことが私の役目だと思い、「文化、文化」の掛け声でがんばってきました。今では地域の方々が非常に熱心で、我々行政のほうから押されているほどです。

隈◆これからは、まちづくりが政治経済の核になると思いますよ。工業化の時代は終わり、今後は場所に根ざした産業でない世界的に競争できない。特に日本のような成熟した社会では、いかに「場所の力」を再発見するかが重要です。豊島区はその先頭

を走るポジションにあるんじゃないでしょうか。

区長◆まだまだですが、そうなりたいですね。

隈◆ヨーロッパは早い時期から経済のシステムを転換して、文化を核にしています。EUでは、毎年1つか2つの都市を「欧州文化首都」として選び、年間を通じて文化的なイベントを開催しています。選ばれた都市は、古い建物をアーティストにうまく使わせたり、雰囲気のある通りを手直ししたりすることでまちを活性化させているんです。文化と場所が融合することで競争力になるんですね。文化首都に選ばれるのはパリやロンドンじゃなくて、磨けば光るような、まさに豊島区のような都市なんですよ。

区長◆そうですね。平成20年度に豊島区が文化庁から都内初の「文化芸術創造都市」に選ばれた時、正直、びっくりしたんです。文化的な施設が多いわけでも、文化予算が多いわけでもないですから。理由を聞くと、区民がまちづくりに対して非常に高い意識を持っていて、区民と行政が力を合わせてソフト面で文化を育てようとしていることが評価されたようです。

隈◆大事なのはソフトと、ちょっとした化粧直しです。文化首都の面白いところは、そのまちが驚くほど生まれ変わる点なんです。都市は生き物です。弱っていた生き物が、治り始めるとどんどん回復するみたいで、外科的ではない形でうまくリズムを直してあげれば自動的に回っていきます。



まちが自慢したくなる

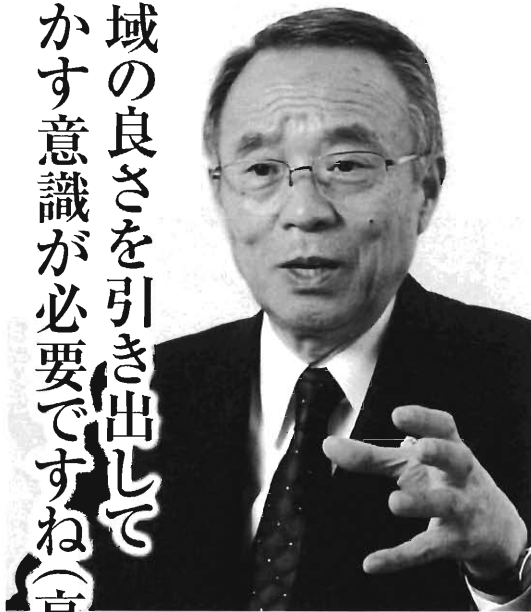
豊島区長 高野之夫

地域の良さを引き出して 活かす意識が必要ですね(高野)

区長◆都市は生き物。なるほど、まちづくりも地域の良さを引き出して活かす意識が必要なんですね。

日本一の高密度都市だからこそ 環境への挑戦を続けていく

区長◆豊島区は今、日本一の高密度都市です。23区で一人当たりの公園面積が一番少なく、緑被率も下位。高密度であるためにCO2の排出量も多い。でも、課題があるからこそ、正面から挑戦するのが我々の役割



「雑司が谷案内」について説明する区長と、興味深げに耳を傾ける隈研吾さん。あたたかな午後の日差しが差し込むギャラリーで、なかなか対談が行なわれました。

だと思っています。

隈◆環境の評価の仕方はいろいろで、フランスやラテン系の国では「数値だけじゃない」という考え方をします。実際、「環境がいい」と人間が感じるかどうかは、公園面積やCO2といった数値じゃないですよ。豊島区が目指しているのは、数値がなくても環境都市たりえるんだってことですよ。それは、すごく大きな挑戦で意味のあることだと思います。「親しみやすさ」とか「心地よさ」とか、そんな人間と環境の関係をつくること。僕はデザインというものが、そこですごくがんばらなきゃいけないと思っっています。

区長◆「安全・安心」であることも、ひとつの環境です。福祉や防災など、広い意味での生活環境に、我々も挑戦していかなければと思います。

隈◆それと、都市再生の重要なキーワードに「コンパクトシティ」の考え方があります。20世紀に郊外という概念が生まれましたが、都市本来の姿は歴史的にも、住み・働き・楽しむ場所が一体でした。そのごちゃごちゃな多様性が都市の魅力でもあったわけです。21世紀の僕らは、都市をもう一度、「コンパクトシティ」にデザインし直さなければなりません。その時に重要なのは、使い方や住み方というソフトの面。日本の都市には細い路地がたくさん残っていて、マイナスがプラスに反転するような可能性を秘めています。この界限にもそんな場所がたくさん埋もれていると、対談前に歩いて再認識しました。



ちよつとの積み重ねで
まちは大きく変わります(隈)



様々な種類の樹木がまちを彩るグリーン大通り(写真上)と、鎮守の森に包まれた雑司が谷付近の路地(写真左)。これらが「緑の気配」でつながっていくと…。

●隈研吾さん プロフィール

1954年、横浜生まれ。1979年、東京大学建築学科大学院修了。コロンビア大学建築・都市計画学科客員研究員などを経て、1990年に隈研吾建築都市設計事務所を設立。2009年から東京大学教授。受賞歴は、2010年に毎日芸術賞(根津美術館)、2009年にフランスの芸術文化勲章オフィシエなど、国内外で多数。

著書は、『三低主義』(NTT出版)、『自然な建築』(岩波新書)ほか多数。地元産の自然素材を生かした建築や人と環境をつなぐ建築で、世界からも注目を集める。

新庁舎のイメージスケッチ
(低層部が庁舎の予定)▶



新春
対談

Pride of pla



建築家

隈
研吾

●雑司が谷案内処の2階ギャラリーにて撮影
歴史と文化に溢れた雑司が谷の魅力を発信する拠点として、昨年7月にオープン。鬼子母神参道に面した並木ハウスアネックスの一角にあります。

区長◆新宿、渋谷に比べて、池袋の発展が遅れたところが、逆によかったのかも知れませんね。
隈◆高層化の進んだ池袋東口との近接性も魅力ですよ。都市には生活のすべてがあつて、いろんなライフスタイルが混在していることが大事なんです。多様性がある都市はいろんな変化が起こったときに強い。グリーン大通りにいろいろな種類の木が植わっているのも生物多様性そのものですね。

区長◆グリーン大通りは池袋東口の顔です。今回の市街地再開発の一角から、緑のネットワークで雑司が谷につながっていくと、まちがさらに良くなるでしょうね。
隈◆ネットワーク型もコンパクトシティの重要な要素です。緑は必ずしも全部つながっている必要はなく、気配の連鎖でいい。先に行くことまたつながっていくと、気配でつながっていく方がいいんです。

区長◆なるほど、道路をトンと通して周りに木を植えることじゃないんですね。すばらしいヒントです。
隈◆まちづくりは、ちよつとの積み重ねで。ちよつと変わっただけでは大きく変わらぬ。全部を変えなきゃいけないなんてことは絶対にないんです。

新庁舎は、起爆剤として
池袋副都心づくりの未来を拓く

区長◆池袋副都心をどう再生するか、基本的なデザインがようやくできたところなんです。その中で、まちを面的につなげようというLRRT(次世代型路面電

車)の計画を、「それは環境都市も含めて、コンパクトシティにドンピシャだよ」と先生にほめていただきましたね。東西をつなぐデッキも作り、賑わいの創出と同時に、常に「文化環境都市」を念頭にまちづくりをしていきます。その実現に向けた第一歩が、新庁舎の建物になると思っています。

隈◆区長の思いを受けて、僕らも庁舎の設計に当たり、グリーン大通りの緑が垂直的に立ち上がっていくような建物にしようと考えています。建物のデザインも、木が葉っぱに包まれているように、小さなものがたくさん集まって一個の大きなものになる、そういう部分と全体の関係が、20世紀型の高層ビルとは違うものを提案しています。そして、葉っぱは単なるデザインではなく、太陽光発電だったり、直射日光を遮ったり、それぞれの役目を果たします。自然界の葉っぱと同じような働きをする「生き物みたいな外壁」、これが今回の新庁舎の目玉です。

そして、「建物は、どこも裏にしないでほしい」という区長の言葉がヒントになって、建物の四周とこちらでも出入りできます。建物が歩く人を拒絶しないという。これは、すごく大事なことです。

区長◆区民が気軽に過ごせる屋上庭園もあるんですよ。そして大事なのは、庁舎としてだけでなく、周辺環境をも変えていく役割を担っていることです。

池袋副都心づくりの起爆剤として、新庁舎は大きな意味を持っています。隈先生は、その思いに応えてくださったって、未来への可能性を拓いてくれました。今回の再開発は、21世紀の都市づくりの手本になるようなものを目指しています。まちには、「この店、おいしいんだよ」と、友達を連れて来たくなるような、自慢できるものが必要だと思うんです。

隈◆ええ。まちづくりの基本は自慢できること。プライド・オブ・ブレイス、つまり、「場所の誇りを持っている人が好きだ」と、リンカーンも言いました。

区長◆誇りにできるものが豊島区に出来れば、区民もさらに自信を持つことにつながるんじゃないでしょうか。

隈◆LRRTと新庁舎と雑司が谷界隈。この3つの要素が組み合わさるなんて、面白いまちづくりができると思いますよ。世界でもすごくユニークなものが、豊島区で生まれようとしているんです。そういう高い目標にむかって、部分から積み上げていくような形で、このまちづくりが皆さんの力で進んでいくことを期待しています。

伝統の技と心を未来に

すずきみみずく保存会
近江正典さん(法明寺住職)
長島秀臣さん

地域の力で
伝統を継承する

すずきみみずくは、母の病が治るよう
願をかけた娘の民話と共に、江戸時代か
ら伝わる鬼子母神の名物です。しかし昨
年、唯一の製造販売者が店をたたむこ
とに、これを知った法明寺の
住職が、「雑司が谷の心を
なくしてはいけない」と声
をかけ、区も協力して保
存会を立ち上げました。
材料集めには苦労しま
したが、姉妹都市である
埼玉県秩父市の協力で大
量のスズキを入手するこ
とができました。独学で
製作を続けてきた長島さ
んはじめ、地元の方々の情
熱もあり、すずきみみず
くにこめられた想いは地
域に広がっています。

長い時間をかけてつちかわれた技術や技能は、かけがえない地域の財産です。区ではこうした文化を次の世代に伝えていくことができるよう、さまざまな形で支援を行なっています。今回は昔ながらの伝統を守りながらも、新しい時代に向けて挑戦を続ける方々を紹介しします。

東京藤工芸
区伝統工芸保存会

渡邊 勉さん

南長崎1の13の1(渡邊商店)
039512690



デザインをはじめ、すみずみまで渡邊さんのアイデアが生きています

職人の心がまえを藤に託して

昨秋、厚生労働省の「現代の名工」に選ばれた渡邊さんは、昭和25年からこの道一筋。乳母車、脱衣かご、パンかごなど、時代に合った商品を作り続けてきました。区の伝統工芸保存会の役員でもあり、学校で若い人たちに教えるなど普及・啓発にも務めています。「職人は技術を磨くだけでなく、精をこめて時代に寄り添った商品を作ることが大切です」と語る渡邊さん。使う人のことを想い、世界にたった一つだけの藤製品を作り続けています。



チョウが止まっているのが民話に即した本来の形。月に2回、講習会を開いています
南池袋3の18の18(法明寺)
03971-4383



1個120円。改装中のため、巣鴨駅前商店街でも出張販売しています。

福福 長寿饅頭
駿河屋 遠藤公康さん
貴寛さん

菓鴨に元氣と
新名物を

名物の福福饅頭と共に菓鴨で半世紀あまり。変わらぬ味を守りつつも時代に応じた商品を作ろうと、としまでネスサポートセンターに相談し、11月からオンライン入りまんじゅうを売り出しました。においの少ないシナックをあんに混ぜ、黒糖入りの皮でくるんだユークな商品です。「菓鴨を訪れた方を元気にしたい」との願いをこめ、作り続けています。

年始の休日診療

図地域保健課管理係 03987-4203 (1月1日~3日は区役所代表 03981-1111)

Table with columns: 診療機関, 診療日, 所在地, 電話番号, 受付時間. Lists various clinics and their services for the New Year holidays.

Table with columns: 東京部保健医療情報センター, 東京消防庁, 東京都. Lists emergency services and contact information.

施設などの開設状況

図総務係 03981-4451 (1月1日~3日は区役所代表 03981-1111)

Table with columns: 施設名, 年始(から). Lists community facilities and their opening dates.

Table with columns: 施設名, 年始(から). Lists cultural and sports facilities and their opening dates.

Table with columns: 施設名, 年始(から). Lists administrative and public service facilities and their opening dates.

●山中湖秀山荘、猪苗代四季の里は休まず営業しています。
(※1) 南池袋第一区民集会所は、12月末で廃止。
(※2) 1月1・2日も利用申し込みの受付をしています。035396-2873
(※3) 受付抽選は1月4日。
(※4) 受付抽選は1月7日。
(※5) 1月4日抽選は、電話問合せと当選品の受取りのみ可能。
(※6) 駒込駅北・西巣鴨駅・巣鴨駅北・巣鴨駅南・巣鴨駅第三・目白駅東・目白駅西・目白駅北・千登世橋自転車駐車場、その他道路上施設は年中無休。
(※7) 受付抽選は、1月6日。
(※8) 会議室の受付抽選は、1月10日。
(※9) 一斉受付は、1月7日。
(※10) 1月1日抽選~12日抽選の開催時間は午前10時~午後4時まで。
(※11) 雑司が谷旧宣教師館は、1月1日抽選~3月31日休まず、修復工事のため休館します。